

大観峰展望所

大観峰展望所からは、阿蘇カルデラの最高の眺めとされる景観が望めます。周囲の長さ 100 キロメートル、南北に 25 キロメートル、東西に 18 キロメートルのこのカルデラの規模は世界最大級です。阿蘇カルデラは、27 万年前から 9 万年前の間に発生した一連の大規模な火山噴火によって形成されました。

何千年にもわたる火山噴火と浸食は、湧水泉や草原、そして活火山である中岳をはじめとする火山に特徴づけられる阿蘇の特有な地形を作り出しました。また、阿蘇カルデラは人間の生活を支えてきたという点においても特徴的です。

現在、およそ 5 万人の人々がカルデラの内側に住んでおり、古くは弥生時代(300 BCE–300 CE)から人間がここで暮らしていた形跡が見つっています。

活火山の間近に住むことは、常に警戒を強いられるものの、住民に肥沃な草原や豊富な温泉、見事な景色など、多くの利点も与えてくれます。阿蘇カルデラの自然と人間の共生関係は、人間が環境と調和しつつ持続可能な暮らしを営む方法を例示しています。

この関係の一例として、毎年行われる野焼きが挙げられます。野焼きでは、草原の低木や樹木が成長しすぎるのを防ぐため、地元の人々が野原を計画的に焼きます。こうすることで、草原は牛や馬が草を食み、訪れる人たちが楽しめる場所として保全されます。